



日吉津村では、令和3年度から日吉津小学校運営協議会を設置し、地域と学校が連携して「地域とともにある学校づくり」を進めています。今年度は年間6回の協議会のうち児童との交流事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、5回の協議会を開催しました。

10月には、日吉津村熟議を行いました。参加者は、保護者、学校関係ボランティア、学校運営協議会委員、教職員等、総勢26名で5グループに分かれてグループワークを行いました。

## 日吉津村熟議：テーマ「放課後、休日の子どもの姿」

### ※主な意見

○放課後や休日の過ごし方が多様化している

- ・公民館の公園で遊ぶ子、ゲームやインターネットを介して遊ぶ子、習い事に通う子など。
- ・昔は、川や海、田んぼなど自然の中で遊んでいた。

○固定電話が減り、子ども同士で連絡しにくい環境にあり、親同士で連絡し合う

- ・遊ぶときは必ず約束がいる。親の許可がいる。
- ・保護者が留守の家では遊べない。

○体験の場として「カルチャー土曜塾」のよさを感じる

- ・遊びを通じた自然体験が減少している中で、様々な体験活動が保障されている。

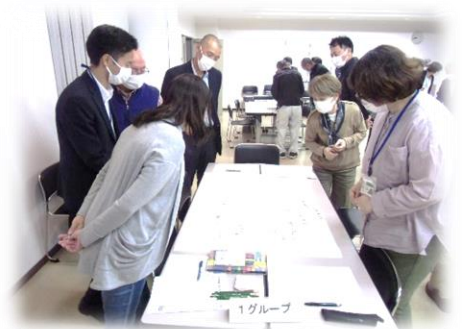
○安全に遊べる場所、道具がほしい

- ・小学校以外で遊べる場所が少ないように感じる。
- ・公民館の庭に遊具（ブランコ、すべり台など）がほしい。

○昔の遊びや体験を伝える

- ・昔遊んでいた遊びを子ども達と一緒に遊ぶ。

○地域の人同士のつながりが生まれる仕掛けが必要



来年度も企画したいと思います。

日吉津の未来を担う子どもたちのために、ともに語り合しましょう。